

# グラブのお手入れ法

Maintenance



## 井端選手のワンポイントアドバイス

僕は普段、試合が終わると、オイル(保革油)が染み込んだ布で乾拭きしています。オイルを塗るのは週に1回ほど。革の状態を見て、かさつき始めたときでいい。オイルの塗りすぎは、グラブの形が崩れやすくなったり、重たくなって、かえって良くない事を覚えておいて欲しい。



僕はグラブの場所によって、固形と液体のオイルを使い分けています。最初に固形のオイルをポケットのところに薄く塗ります。ポケットはボールを受けているうちに革が伸びて、シワもできやすいところ。人差し指にタオルを巻きつけて、ポケットの真ん中に向けて拭くようにして塗っています。



グラブの周り(外側)は固形オイルを薄く塗った後で、その上から液体オイルを薄く伸ばすようにつけています。紐のところは擦れてカサカサになりやすいので、ここだけは手に直接オイルをつけて塗りこむようにしています。

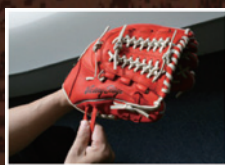


磨くときは絶対にグラブに手を入れてこすること。そうすれば形が崩れないし、自分の手の形になじんでいきます。オイルを塗って手入れをした後は、風通しのいいところにしばらく置いておこう。

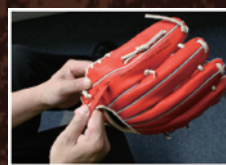
## まず始めに **POINT** グラブのお手入れは、自分にフィットする型作りから



指先ヒモがゆるくなってくると、強いボールに指先が負けたり、ポケットが浅くなってしまいます。適度にしておくこと。



とくに親指掛けは、グラブさばきに大きな影響を与える。ゆるすぎると親指がきかないばかりか、つき指の原因にもなるので、使用前に十分調整しておこう。



ナチュラルバックは背面のペロ部分のヒモ穴を変えることで、手口をきつくることができる。逆に手口のとじヒモをゆるめれば、手入れ口がゆるくなる。

## 使い始める前に **POINT** 自分の好みの状態になるまで、お手入れはこまめに

まずは、オイル(保革油)を全体に薄くのはして塗って下さい。革の表面がしっとりとし、ボールの食いつきがよくなります。また、使わない時もグラブに手を入れ、作りたい型をイメージしながら感触を何度も確かめること。気に入った状態になるまで、こまめな手入れが必要です。そうすればグラブへの愛着も生まれ、手にもなじんできますよ。



グラブ全体に『ストロングオイル』を塗る。  
※塗りすぎるとグラブが重くなるため、薄く塗ってください。



捕球を繰り返す。  
グラブ型付け用の木製槌、  
『グラブ仕上げ槌』も便利です。



オイルを塗ってから1週間ほど後、オイルが乾いているのを確認し、もう一度全体に薄く『ネオストロングオイル』を塗る。

## 日常のアフターケア **POINT** 使用後のケアは必須！オイルの使いすぎに注意！

使用後は、革についた汚れをきれいに落として、全体にオイルを薄く塗って下さい。また、汗をかく夏場は手を入れる裏革部に使うと臭い防止にいいですよ。ただし塗りすぎには要注意！グラブが型くずれを起こしたり、グラブやミットが重くなる、柔らかくなりすぎるなど、かえって寿命を縮めてしまいます。ゲーム直前のオイル使用もプレーに悪影響を与えることがあるので控えて下さい。毎日ではなく、あくまで使用後のお手入れがポイントです。



グラブ・ミット全体に付いている汚れを柔らかい布やブラシできれいに落とす。



その後、『ストロングオイル』を柔らかいスポンジや布に少しつけて全体に塗る。

グラブのにおいを防ぐには、グラブの中を湿らせない事が大切です。使用後は風通しのいい所にグラブを置き、グラブ内部を乾かしてください。また、守備用の手袋を使用すると、手の汗がグラブ本体に付くのを防ぎます。

その他、グラブ・ミット・スパイクについた汗のにおいを防ぐ『グラブフレッシュ』や、汚れを落とすだけでなくにおいのもとである菌を除菌する効果のある『ウエットグラブクリーナー』もご用意しております。使い込んだグラブには『グラブマスクパック』や『グラブフシャキット』も有効です。

# グラブのお手入れ法

Maintenance



**POINT** 柔らかくするには 一度にせず、徐々に馴染ませていくように

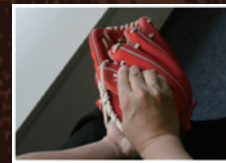
使い始めの時にグラブは手で揉むとある程度柔らかくなります。それでも硬い場合は、グラブに保革オイルを馴染ませてから揉んで下さい。しかし、グラブを使用している中で革が手に馴染んできます。一度に柔らかくせず硬さを確認しながら行う事が大切です。



グラブの付け根やヒンジ部などを曲げる。

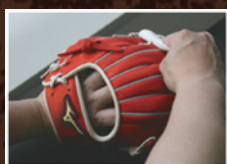


『ストロングオイル』を塗り、布で拭き取りながらオイルをグラブに馴染ませる。

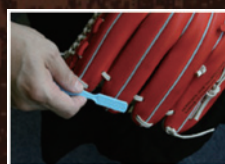


オイルを塗った部分を再度曲げ伸ばして、好みの柔らかさに仕上げる。

**POINT** 使い込んだグラブのケア 必要な時以外は触らず、丁寧に扱う



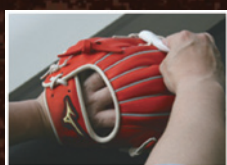
グラブ全体に『ケアクリーム』を塗る。



指先や指先紐をこすれや摩耗に対して強くするには、『レザーローション』をブラシの先にとり、少し塗ると効果的。

**POINT** ツヤを出すには 一度にせず、間隔をあけてあなただけの色に

日常の手入れを繰り返すと革が深みのある色に変化していきます。また、ツヤ出しオイルを塗るとより格好いいグラブに仕上がります。ツヤ出しオイルを塗りすぎるとグラブの表面に薄い膜が張られ、グラブの保革オイルが馴染みにくくなる事があるので、ツヤ出しのお手入れは頻繁に行わず、1～2週間ほど間隔をあけて行うようにして下さい。



グラブ全体に『レザーコンディショナー』を塗る。



『レザーシャインジェルフォーム』や『レザーローション』を少量取る。



グラブに塗りこみ、完全に乾かないうちに良く磨き、ツヤを出す。  
※グラブの紐やハミダシに塗る必要はありません。グラブの背面のみ使用して下さい。

**POINT** グラブの保管方法 時間をかけて馴染ませた型を崩さないように！

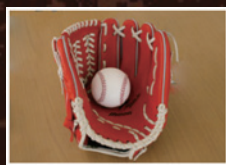
グラブが手になじんだら、型崩れを防いで、できるだけ長くベストの状態を保ちたいですね。そのためには、ポケット部にボール等をはさみ丸みを損なわないように保管して下さい。ただし、親指先と小指先が接触するほどきつく締めるのは、グラブの状態を悪くするので注意して下さい！



自分がいつも使用しているグラブの形でストレスが少ないよう、親指部と小指部を下にして置く。



もしくは、指先を地面につける逆さ置きにして置く。



移動時などグラブ袋に入れる場合は、グラブの形を保つよう、ボールをポケット部に入れておく。



使用や移動の時以外はグラブ袋から取り出し、風通しのいい所に置く。このように横向きに寝かせて置くと親指の重みでグラブの型が崩れてしまうので、要注意！

ボールをはさんでグラブ形状を保持する『グラブ保型ベルト』や、グラブ内の指袋形状をキープできる『グラブ指袋保型バンド』などをご活用下さい。